

海と緑の山々に囲まれた
一色の地に美術館が誕生

10月11日(土)

『もうひとつの現代展』で幕開け

～県立近代美術館 葉山～

県立近代美術館の三番目の施設として、一色の地に葉山館が完成、今月十一日に開館します。緑の三ヶ岡山をバックに、海のほとりに建つ「白亜の美術館」は、広い展示室のほか、図書室、眺めの良いレストラン、ミュージアム・ショップなどを備え、魅力がいっぱい。葉山にまた一つ、新しい名所が誕生しました。



五二年の歴史
日本初の公立近代美術館

県立近代美術館は、戦後間もない昭和二六年に、日本で最初の公立近代美術館として鎌倉の鶴岡八幡宮境内で産声をあげました。半世紀以上の歴史を持ち、大変に由緒ある美術館です。

近現代の優れた美術品を広く紹介することを目的に、開館以来、主に明治以降の国内外の絵画や彫刻、写真、工芸品などの収集・研究・展示に努め、コレクションの総数は九、五〇〇点を超えています。

収蔵品が年々増え、展示スペースも含めて本館が手狭になったことから、昭和五九年には近くに別館を新設。長い間、二館体制で運営してきました。

しかし、収蔵・研究・展示といった美術館本来の機能を強化すると同時に、来館者がくつろぎ、楽しみながら美術鑑賞ができるよう、より魅力的で開かれた美術館をめざして、御用邸のそばの一色海岸に三番目の施設を建設。それが葉山館です。



海と緑の山々に

囲まれた葉山館

葉山館が建つのは、「しおさい公園」に隣接する旧高松宮別邸の跡地。海に面し、かすかに潮の香りが漂います。振り上げば三ヶ岡山の緑が目に見え、か。立地条件は抜群、まさに景勝の中の美術館です。

建物は地上二階、地下二階の鉄筋コンクリート造り。白亜の外観が海の青、山の緑に映えて、とてもきれいです。

館内には、様々な規模の展覧会に対応できるよう作られた大小四つの展示室をはじめ、エントランスホール、図書室、講堂、それにレストラン、ミュージアム・ショップなどが設けられています。

広い展示室

自然光もたっぷり

特に展示室は広々としており、四つの室内の総展示スペースは約一、三〇〇平方メートル。これは鎌倉館、鎌倉別館の展示室をすべて合わせた広さにほぼ匹敵します。

明るい太陽がふりそそぐ湘南の特性を生かし、光環境にこだわっているのも大きな特徴の一つ。エントランスホールには、大きなガラス窓や天窓か

ら自然光がさんさんと差し込み、やわらかで、落ち着いた雰囲気をかもし出しています。

また展示室でも、天井に設置した自動開閉式のブラインドで自在に自然光を採り入れ、人工照明と組み合わせながら、より効果的な状態で美術鑑賞が楽しめる工夫がこらされています。

自然光もたっぷり



©矢萩喜従郎



広い展示室

©矢萩喜従郎



エントランスホール

©矢萩喜従郎

美しい景色の中での

食事や買い物

葉山館にはレストランやミュージアム・ショップなど、鎌倉館、鎌倉別館にはなかった施設も新設されました。

レストランは、屋内・テラスを含めてテーブルが四〇席ほど。規模は小さいものの、目の前に青い海が広がり、眺めは抜群です。おいしい料理に舌鼓を打ちながら、ちよつと一休み。格別のくつろぎの場になりそうです。

ミュージアム・ショップでは、開催中の展覧会の図録や絵葉書などのほか、県立近代美術館ならではのオリジナルグッズをいろいろと開発して、販売します。



海を見ながらお食事

広報はやま10月号

三ヶ岡山を仰ぐ中庭
庭園に建つあずまや

館内から一歩外に出ると、美しい中庭があります。庭の中央部は、芝を敷き詰めた円形の広場。そこに立つと、すぐ目の前に青々とした三ヶ岡山が望めます。

中庭から海辺の方へ木製の階段を降りて行くと、庭園が広がっています。庭の中ほどに、昔を偲ばせるあずまやが一つ。その姿が眼前の海と調和して、何とも言えない風情があります。



庭園にあるあずまや



図書室

©矢萩喜徳郎

大半のスペースが
入場料がかかりません

美術鑑賞だけに限らず、だれもが自由に使える「開かれた美術館」。それも葉山館の大きな特徴の一つです。

そのため、エントランスホールや図書室、レストラン、ミュージアム・ショップ、さらに中庭、庭園など、展示室を除く多くのスペースが、入場料なしで入れる「フリー・ゾーン」となっています。

また、高齢者や体の不自由な人にも安心して入場していただけるよう、利用施設の大半を一階部分に集中。さら

に、段差の解消などバリアフリーに配慮した設計になっています。

「もうひとつの現代展」で
幕開け

葉山館の開館は、「芸術の秋」たけなわの十月十一日。開館を記念した企画展「もうひとつの現代展」で幕を開けます。

この展覧会は、所蔵作品の中から、山口蓬春や棟方志功など日本の近現代を代表する作家たちの作品約一七〇点を

を厳選して展示。葉山館の門出を飾るのにふさわしい内容となっています。また、今後は鎌倉館を主に常設展示場とし、葉山館では企画展を中心にした展覧会が開催される予定です。なお、作品などの移転作業のため休館中だった鎌倉館・鎌倉別館は、それぞれ十一月十五日(土)から展覧会が開かれる予定です。

問合せ 県立近代美術館 葉山

☎八七五―二八〇〇

県立近代美術館 鎌倉館

☎〇四六七―二二一五〇〇〇



県立近代美術館 葉山へは…

●公共交通機関利用の場合

JR横須賀線逗子駅前(3番のりば)または京浜急行新逗子駅前(南口2番のりば)から京急バス「海岸廻り葉山」行きで「三ヶ丘」下車(所要時間約20分)

●横浜横須賀道路利用の場合

逗子インターチェンジから逗葉新道経由で約7.6*。
横須賀インターチェンジから県道27号横須賀葉山線経由で約7.2*。